

郷地・東町かわらばん

〈発行責任者〉 郷地東町連合自治会会長
志村和亮
 〈作成〉 総務広報部：角田三郎・木村悦雄・
宮崎文男・藤尾 敦・柿澤 修・
中島岩雄・清水和子

連合自治会

◆年末パトロールを実施

例年通り12月末の数日間、各自治会ごとに年末パトロールを実施しました。参加頂いた皆様、寒い中、どうもお疲れ様でした！写真は29日・30日に昭島団地で行なわれたパトロールの様子です。子ども達も「火の用心」と言いながら一緒に回りました。



◆防犯対策の講話会を開催

1月24日、東町集会所で開催。昭島警察署生活安全課防犯係から前場係長をお招きして、最近件数が増えている特殊詐欺や各種犯罪等の防止対策について、手口や対策をお話し頂きました。特に特殊詐欺については、次々と新しい手口での被害も増えているため、こういう講習会に参加したり



警察のホームページを見るなどして手口を知り、騙されないようにして下さいとのこと。質疑応答で、参加者の中には実際被害に遭いかけた方も何人かいて、皆さん真剣に聞き入っていました。

郷地第三自治会

◆スタンドパイプの操作訓練を実施

スタンドパイプとは、大地震などで火災が多発し、消防車が火災現場になかなか行けない状況が発生した場合に、地域住民が消火活動をするための設備で、昭島市では当自治会を含め多くの自治会に貸与されています。しかしその操作は事前に訓練を受けている人でないと難しいため、1年に1回以上訓練を受けることが自治会への貸与の条件になっています。郷地第三自治会では2月9日（日）、組長と防災委員を中心に約10人が参加し、昭島消防署昭和出張所の消防隊員の指導の下、郷地稻荷神社公園で操作訓練を行ないました。

（宮崎文男）



連合自治会長のつぶやき

立春も過ぎ、ようやく寒さも和らいできました。昨年末から年明けにかけては、新型コロナとインフルエンザが猛威を振り、医療機関によっては外にまで患者が並び、「本日の診察はできません」と言われて、予約だけして帰宅する方もいたと聞きました。会員の皆様は無事に過ごせたでしょうか？一時期原因不明で世界中を震撼とさせたコロナも、今では予防法や治療法が明確となり、それほど脅威ではなくなりました。

しかし、自然災害はそうはいきません。昨年は年明け早々に能登地方で大地震が発生し大きな被害をもたらしましたが、今年も1月から2月にかけて宮崎県と福島県付近で震度5以上の地震が発生しています。特に宮崎県沖では昨年8月に発生したM7.1の地震で宮崎県から静岡県側の太平洋側を襲う南海トラフ大地震の発生が騒がれていますし、関東地方でも30年以内に大地震が起きる確



率が70%と言われ、いつ大地震が発生してもおかしくない状態です。更に最近では地震以外でも大雨、強風、大雪、干ばつによる山林大火災等の自然災害が、今まで長年起きたことがなかった場所でも突然発生し、大きな被害を与えています。このように、いつどこで発生するか分からない自然災害に対して、皆さん日常準備は出来ていますか？

病気になった時はまずお医者さんですが、自然災害にあった時には「自助」「近所・共助」「公助」を頭に置いて、まず自分が助かること「自助」を優先してください。2番目に「近所・共助」をお願いします。3番目に「公助」です。自然災害の対策は、災害の種類や地域、個々の状況によって違ってきます。常に最新の防災情報を把握し、自分に合った事前準備や発生時の対応策を整えておいてください。地元の防災セミナーや講習会、防災訓練に参加するなど、まずは出来る所からやってみましょう。自然災害の発生は止められなくても被害は最小限に抑えるために。（志村和亮）